



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 68 号

R4.6.14

文責 中西 勉



「アジサイ読書週間」と「校長先生の本の読み聞かせ」

昨日から「アジサイ読書週間」が始まりました。これをきっかけに、男川っ子には、自ら積極的に本に親しんでほしいと思います。その一助になればと思い、昨日の朝は、全校放送で私が「本の読み聞かせ」を行いました。

今回、私が読み聞かせをしたのは、2年生の国語の教科書に掲載されている『にゃーご』の作者である宮西達也さんの本です。私は、かつて2年生の担任をした際に、『にゃーご』の指導をしてから宮西さんの大ファンになり、何冊も宮西さんの本を読みました。また、7年前に宮西さんが刈谷市の図書館に来られた際には、夫婦と一緒に宮西さんに会いに行き、お話もさせていただきました。



▲プレゼン形式で読み聞かせ



▲宮西達也さんと一緒に



▲『ぼくにもそのあいください』



▲「読み聞かせ」に集中する1年生

今回は、大好きな宮西さんの本の中から、男川小の図書室にあった『ぼくにもそのあいください』を読みました。この物語は、——主人公のティラノサウルスは、若い頃、「この世の中は、力がある者が勝ち。力の強い者が一番だ」と豪語していました。しかし、次第に年をとって力が弱くなり、他の恐竜から見下されるようになります。そんな時に、純真な心を持つトリケラトプスの子供たちと出会います。そのふれあいを通して、「大切なのは、力が強いことじゃない。一番大切なのは“愛”なんだ」ということに気づき、それをトリケラトプスの子供たちに身をもって教える——というストーリーです。絵がとても印象的かつ魅力的で、話の流れもわかりやすいので、“他者への思いやりや優しさが大切”という物語のテーマを、低学年の子たちにも心で感じてもらえたと思います。そして、読み聞かせの最後に、宮西さんの本を5冊紹介し、図書室に置いておきましたが、それらの本は長放課にあつという間に貸出中になりました。子供たちに大いに注目してもらえてよかったです。

また、本日、東海地方も梅雨入りし、朝から雨が降って外で遊べないということもあって、休み時間には多くの男川っ子が図書室を訪れていました。7月1日（金）までの「アジサイ読書週間」で、子供たちがより多くの本に親しみ、心を豊かにしてくれることを願っています。



▲自ら図書室に足を運んだ男川っ子たち



▲図書室の外にまで長蛇の列